

# ～未来につなげよう～ 子どもと共に育つ学校図書館

学校図書館問題研究会は、司書、教師、市民など、学校図書館に関わる人々が集う研究団体です。子どもたちが主体的な探究活動をとおして、自ら課題を解決する大人になるための一助を担うことを目指して日々研究を重ねています。また、読書体験を重ねることで、未来につながる知識を蓄え、豊かな感情を育むことができるように、子どもたちに寄り添った支援を続けています。

本大会では、行政の立場から学校図書館を活かした教育を、全国に先駆けて推進してきた島根県知事溝口善兵衛氏と、かねてより学校図書館の可能性に注目して、鳥取県知事・総務大臣として施策を展開してきた片山善博氏の対談をはじめ、さまざまな学びの機会があります。学校図書館の使命と、それを支える職員の専門性について探っていきます。子どもたちと共に成長し続ける学校図書館であるために、一緒に考えていきましょう。

日 時： 2013年8月4日（日）～6日（火）

会 場： 玉造グランドホテル 長生閣  
〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉造331  
TEL 0852-62-0711 FAX 0852-62-0772  
URL <http://www.choseikaku.co.jp>

主 催： 学校図書館問題研究会 (<http://gakutoken.net/>)

後 援： 島根県教育委員会・松江市教育委員会・島根県公共図書館協議会  
島根県学校図書館協議会・島根県高等学校図書館研究会

申込期限：6月30日（日）必着 \*参加費・申込方法などの詳細は最終面参照



島根大会キャラクター  
「カグラちゃん」

## プログラム

8/4 (日)	12:00	13:00	14:00	17:00	19:00	21:00
	受付	開会行事 総会	対 談	夕食	ナイター(A～H)	
5 (月)	9:00	12:00	13:00	17:00	18:00	20:00
	実践報告 I・II	昼食	分科会(1～9)		全体交流会	
6 (火)	9:00	11:30	11:50			
	全体会・総会	閉会 行事				

## 対 談 学校図書館と子どもたちの未来

溝口 善兵衛氏（島根県知事） × 片山 善博氏（慶應義塾大学法学部教授）

コーディネーター 松井 正英さん（長野県茅野高等学校司書）

財政難の島根県にもかかわらず、2009年4月から学校司書配置事業、学校図書館活性化事業を精力的に進めている溝口善兵衛島根県知事。鳥取県知事時代に、正規の学校司書を県立高校に配置し、総務大臣時代に「住民生活に光をそそぐ交付金」で全国の図書館、学校図書館に文字通り光を当てた片山善博教授。教育や学校図書館について、並々ならぬ見識を持つお二人に「学校図書館と子どもたちの未来」についてお話ししていただきます。学校図書館の使命を再確認し、その可能性を最大限に引き出すため、私たちに何ができるのかを考える機会としましょう。

## 実践報告 I

### 学校図書館が育てる子どもたちの力

樋野 義之 さん（松江市立揖屋小学校 司書教諭）  
門脇 久美子さん（松江市立揖屋小学校 学校司書）

揖屋小学校図書館は、全学年のシラバスを把握して行う授業支援と平行して、子どもたちが読む力をはじめとした情報活用能力を身に付けるためのスキル学習を、入学時から継続して展開しています。学校の目標を実現し、子どもたちを育てるために、学校図書館の力をどう活かせばいいのか。学校図書館には何ができるのか。年間660時間の授業を支えている専任の司書教諭と学校司書が、多くの実践の報告とともに提案します。

## 実践報告 II

### 「生きる力」を引き出す図書館活動

宮崎 健太郎さん（埼玉県立新座高等学校 司書）

学ぶチャンスに恵まれず、学ぶこと、生きることに自信のない高校生たち。自らの手ではどうすることもできない背景を抱えた彼らに、図書館と情報の持つ力を、またそれらを使いこなす力を伝えるために、学校司書として行ってきた図書館活動について報告します。図書館を身近に感じてもらうための活動に加え、対話や発信を重視する授業づくりへの支援が、徐々にもう一本の仕事の柱となった8年間。この間の試行錯誤をも共有し、学校図書館活動を一緒に考えるきっかけとなればと思います。

## ライター

### A：きっとやってみたくなる！ お楽しみ実演（担当：岡山）

おはなしの世界を楽しんだり、広がりが見えたりする実演！今回はペープサート、語り、ブックトークの実演をします。「見てみたい」という方も大歓迎!!「やったことがない」「うまくできない」という方も大歓迎!!作品選びや実演のポイントの話もあります。

### B：利用者拡大につながるコミュニケーション術（担当：東京）

学校図書館職員にとって、コミュニケーション能力は必須です。図書館を少しでも利用して欲しい!という思いは皆一緒。その思いが強すぎて、相手に引かれた経験はありませんか?東京支部では、会員が日頃のコミュニケーションを振り返り、成功談・失敗談をもとに、寸劇を仕立てました。芸達者(?)なメンバーの楽しい劇を見ながら、我が身を振り返ってみませんか?

### C：中高生のためのアニメーション（担当：鳥取）【定員40名】

#### <講師> 倉光信一郎さん（米子市立尚徳小学校・校長）

鳥取支部の会員が高校で実践したアニメーションのプログラムを体験。それをもとに中学校・高校でアニメーションを取り入れることの意義や、その活用方法についてディスカッションするライターです。各地でアニメーションを実践されている倉光信一郎さんにもアドバイザーとして加わっていただきます。アニメーションを、楽しみながら、一緒に学びましょう。

### D：挑戦!「ビブリオバトル」part2（担当：兵庫）

ビブリオバトルとは、参戦者がこれぞと思う本を5分で紹介した後、どの本が一番読みたくなったかを、観戦者が投票する「知的書評合戦」です。昨年に続くpart2では、この審査基準の他に、どの紹介のしかたがよかったかの基準を設けます。今回のテーマは「色」。参戦者は「学図研ニュース」6月号で6組募集します。

### E：分類をぶっこわす? 分類表示と配架をめぐるガチバトル（担当：神奈川）

利用者にとって「伝えやすくわかりやすい本の並べ方」を追求するとき、分類にこだわらない別置やコーナー作りはアリかナシか?あくまで分類番号順に並べるべきか?学校図書館における「分類」について徹底的に語り合きましょう!

### F：おしゃべりライター「学校図書館職員の広場」（担当：島根）

校内ではなかなか相談できない小さな疑問や、嬉しかったことなど、誰かに言いたいこと、たまっていますか?ざっくばらんにおしゃべりできるライターです。学図研が初めての人も長い人も、お気軽にどうぞ!

### G：おはなしの部屋（担当：島根）

神話が息づく地・島根ならではの神々の物語や、『古事記』を題材とした影絵や紙芝居を、影絵グループ「シルエット」がお届けします。また、手遊びをとおした心温まる時間もたっぷりお楽しみください。

### H：「人」の情報交換（担当：職員問題を考えるプロジェクトチーム）

学図研では、学校図書館職員は「専任・専門・正規」であるべきだと確認しています。しかし今、自治体によりさまざまな条件の人が配置されています。参加者が各地の情報を持ち寄り、学校図書館を取り巻く状況と一緒に考えていきましょう。

## 分科会

### 1：学校図書館の力を活かす (担当：島根)

#### <報告> 樋野義之さん(松江市立揖屋小学校・司書教諭)・門脇久美子さん(松江市立揖屋小学校・学校司書)

「うちの学校はこんな子どもを育てたい」と、日々行われる授業のために、学校図書館はどう動くべきか。学校図書館を授業で活用することの意味を討議し、明確にしていきます。実践報告Ⅰを受けてみんなで話し合う分科会です。「こんな授業で子どもが変わった」という事例を出し合って、学校図書館の力を活かすための知恵を、共有しましょう。

### 2：「生きる力」を引き出す図書館活動をつくる (担当：埼玉)

実践報告Ⅱを受けた分科会。学校図書館の活動は子どもたちの「生きる力」をどのように引き出していますか？ 子どもたちの成長を感じた具体的な事例と、その背後にある図書館の営み（資料提供や授業支援など）を持ち寄り、ワークショップを行います。生徒の力を引き出すカギや、私たちの仕事の力点のあり方についても検証してみましょう。（中学・高校向け、宿題あり・詳細はHP参照）

### 3：蔵書構築を考えよう！ (担当：兵庫) 【定員40名】

#### <報告> 中村百合子さん(立教大学文学部・准教授)・今野千束さん(豊中市立第一中学校・司書)

子どもたちの要求に応え、教師の授業実践を支える。しかも書架の前に立っているとおどおどと知的好奇心がわいてくる。そんな蔵書をつくるにはどうすればいいかを、小・中学校の報告を受けて話し合います。参加者は自校の蔵書構成・貸出などについて、あらかじめワークシートに記入して持参してください。（詳細はHP参照）

### 4：「専任・専門・正規」の「専門」を考える (担当：職員問題を考えるプロジェクトチーム)

#### <報告> 職員問題を考えるプロジェクトチーム

学図研では、学校図書館には「専任・専門・正規」の職員が必要と考えてきました。昨年の大会では、学校図書館職員に求められる専門性は「司書資格をベースとして学校教育に関する知識もあわせもつ」ことであると確認しました。今年は、なぜ司書資格が大切なのかを報告を聞いて論議し、「専門」について一致できるところをまとめていきます。

### 5：ICTと学校図書館 (担当：東京)

#### <講師> 野末俊比古さん(青山学院大学教育人間科学部教育学科・准教授)

ICT (Information and Communication Technology) は、否応なしに私たちのまわりを取り巻いています。学校図書館も例外ではありません。ならば！先取りしてしまいましょう！用語や概念をきちんとおさえ、可能性を探り、このテーマと正面から向き合う準備をしませんか。当日は、複数のアドバイザーにガイドしていただきながら、丁寧に学んでいきます。私はこういうの苦手だと思っている方こそ、ぜひご参加ください。

### 6：社会科をもっとおもしろく！ (担当：岡山)

どこの学校図書館でも、書架には社会科をおもしろくできる資料がたくさん並んでいるはず。それらの資料を、授業の中でもっと活躍させませんか？地域性も出る社会科という教科の特性を確認し、小・中学校での事例を検証しながら、子どもたちに「おもしろい！」「もっと知りたい！」「調べたい！」と思わせる方法を探っていきます。

### 7：図書館大改造!? ビフォー&アフター (担当：三重)

季節の展示や特集、館内の飾りつけなど、「いろいろ手を加えているのに利用が伸びない」と感じたことはありませんか。この分科会では、高校図書館の報告を参考に、問題点を見つけることから具体的な改造までを示します。後半は実際の学校をモデルにグループワーク。なかなか図書館の改造に踏み切れない方、参加してみてください。

### 8：貸出を「とことん」考える (担当：熊本)

図書館の利用状況をはかる上で一つの指標となる貸出。貸出について考えることは、選書、予約制度、レイアウトの工夫、カウンターでの対応など、日々の活動を見直すことにもつながります。貸出を伸ばすことの意味は？貸出冊数をどう分析する？これまで学図研で重ねてきた様々な議論を振り返りつつ、とことん語り合しましょう。

### 9：学校図書館スタートガイドで悩み解消 (担当：長野)

学校図書館ビギナーズのお助けツールとして長野支部が作成した「学校図書館スタートガイド」。これを使って、前半に自分の働く図書館の仕事量と、勤務条件などを合わせて、業務のバランスを考えます。後半は悩みの原因と解決法をみんなで考えます。初心者の方、2・3年経って「悩みが見えてきた」方、「学校図書館とは」に立ち返りながら、問題を解決しましょう。

## 申込方法

同封の申込書に必要事項を記入し、**FAX**でお申し込みください。

締切までにお申し込みの方には、**7月13日までに**確認書ならびに請求書をお送りします。

確認書到着後、指定口座に1週間以内に参加費・宿泊費等を振り込んでください。

申込先：〒690-0877 松江市春日町28-3

**ヤマネツーリスト 学図研第29回大会」係**

TEL：0852-60-0120 FAX：0852-60-0121

振込先：銀行名：山陰合同銀行（さんいんごうどうぎんこう） 支店名：法吉出張所（ほっき）

口座番号：普通 3601100 口座名：有限会社ヤマネツーリスト 代表取締役 山根義人

**申込締切：2013年6月30日(日)必着！ ※保育の申込は 6月20日(木)必着です)**

\*期限を過ぎた場合は、お断りすることがあります。お早めにお申し込みください。

①参加費	全日程参加 (会 員)	4,500円	(大会報告集『がくと』代はすでに年会費に含まれています)
	全日程参加 (非会員)	5,000円	} ※非会員で大会報告集『がくと』希望の場合は申し込み欄にご記入ください (送料込み 1,000円)
	一日のみ参加	2,500円	
	全日程参加 (学 生)	1,500円	
	一日のみ参加 (学 生)	1,000円	

②宿泊および宿泊費 お申込先着順にて受付いたします。

★子ども・幼児の宿泊料金は、申込書裏面料金一覧をご参照のうえお申し込みください。

③キャンセル料 キャンセル日によってはキャンセル料が必要になります。申込書裏面をご参照ください。

④分科会 ナイター 分科会・ナイターは必ず第2希望まで記入してください。  
申込多数の場合は、希望に添えないことがあります。

⑤締切後の宿泊 締切を過ぎた宿泊申込には応えられない場合があります。お早めにお申し込みください。

⑥申込用紙 申込用紙が必要な方は、学校図書館問題研究会の公式ホームページからダウンロードできます。  
公式ホームページ <http://gakutoken.net/>

⑦保育 対象：3歳以上

時間：8月4日(日) 12:30~17:30

8月5日(月) 8:50~12:00、13:00~17:00

8月6日(火) 8:50~12:30

費用：子ども1人につき 一律4,000円(参加日数に関わらず。保険・おやつ込み)

※4日夜間保育(18:50~21:10)を追加する場合、子ども1人につき別途1,000円

※8月5日(月)の昼食代および宿泊代は含みません。

申込：参加申込の所定の欄に、お子様の氏名・年齢を記入して **6月20日(木)まで**にお申し込みください。  
後日、大会事務局より保育に関するアンケートを送付させていただきます。

大会事務局 <sup>とみたに</sup> 富谷 <sup>みき</sup> 美紀 (松江市立城北小学校 学校司書)

Tel : 080-3877-9389

E-mail : [gakuto2013shimane@gmail.com](mailto:gakuto2013shimane@gmail.com)

会場アクセス **玉造グランドホテル 長生閣** <http://www.choseikaku.co.jp> をご参照ください。

【自家用車】山陰道(宍道I.C.または松江玉造I.C.)・国道9号線から玉造温泉へ。

【飛行機】米子空港・出雲空港から、空港連絡バスでJR松江駅へ。

【高速バス】各高速バスで、JR松江駅へ。

【JR】JR松江駅から玉造温泉駅へ。約10分。1時間に1本程度。

特急の停まる最寄り駅はJR松江駅です。

【バス】一畑バス：JR松江駅前5番乗り場 玉造温泉行き で約30分。

1時間に1本程度です。

※ JR 玉造温泉駅⇄会場間の無料送迎バスが下記時間帯に往復します(予約不要)

8月4日(日) 11:30~13:30 8月6日(火) 12:00~13:00

